

与那原町沖縄赤瓦使用奨励金交付規則をここに公布する。

平成 30 年 3 月 7 日

与那原町長 古堅 國雄

与那原町規則第 11 号

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、地場産業の窯業振興及び赤瓦街並み景観形成の促進を図るため、沖縄赤瓦を使用した建築物の建築主に対し予算の範囲内において沖縄赤瓦使用奨励金(以下「奨励金」という。)を交付するものとし、その交付等について、与那原町補助金等の交付に関する規則(昭和 53 年与那原町規則第 1 号。以下「規則」という。)に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第 2 条 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄赤瓦 沖縄県赤瓦事業協同組合加入事業者が生産した瓦、タイル及びブロック等をいう。
- (2) 建築物 建築基準法(昭和 25 年法律第 201 号)第 2 条第 1 号に規定する建築物をいう。ただし、この要綱においては、駐車場、通路及び花壇等の構築物も含めることとする。
- (3) 工事 町内に本社を有する法人又は町内に事務所を有する個人で町内に住民登録している施工業者を利用して、建築物又は工作物の新築、増築及び改築の際に沖縄赤瓦の設置に係る工事をいう。

(対象者)

第 3 条 奨励金の交付を受けることができる者は町内において次の要件を備えた建築物を新築し、増築し、及び改築した者とする。ただし、建築物及び同一の対象者については 1 回を限度とし、共有名義の建築物については、共有者のうち 1 人に限り対象とする。

- (1) 赤瓦街なみ景観形成に寄与する建築物であること。
- (2) 沖縄赤瓦の工事費が 20,000 円以上を要した建築物であること。
- (3) 国及び地方公共団体の所有ではない建築物であり、かつ、国、県又は町の他の制度による補助を受けていないもの。
- (4) 規則第 5 条第 4 号に規定する町税等を滞納していないこと。

(奨励金の額)

第 4 条 奨励金の額は、次に定めるとおりとする。

- (1) 工事費の 30 パーセント以内の額とし、300,000 円を限度額とする。
- (2) 複数の工事を同時にした場合は、それぞれの工事費用の合計を 1 件とし、前条第 2 号に規定する工事費用とする。

(3) 第1号において算出した額に1,000円未満の端数金額が生じたときの当該端数金額は、切り捨てるものとする。

(交付の申請)

第5条 奨励金の交付を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、沖縄赤瓦使用奨励金交付申請書(様式第1号。以下「申請書」という。)と次に掲げる書類を添えて、工事施工後1年以内に町長に申請しなければならない。

- (1) 付近見取図
- (2) 沖縄赤瓦を設置した箇所が分かる平面図及び立面図等
- (3) 工事費領収書の写し
- (4) 当該建築物の完成写真
- (5) 沖縄赤瓦使用証明書(様式第2号)
- (6) 町税等納付状況調査(照会)同意書(様式第3号)
- (7) その他町長が必要と認める書類

(交付決定通知)

第6条 町長は、前条の規定により申請があったときは、その内容を審査し、適当と認めるときは、沖縄赤瓦使用奨励金交付決定通知書(様式第4号)により申請者に通知するものとする。

2 申請書が適当と認められないときは、沖縄赤瓦使用奨励金不交付通知書(様式第5号)により申請者に通知するものとする。

(奨励金の請求及び交付)

第7条 前条の規定により奨励金の交付決定を受けた者(以下「補助事業者」という。)が、奨励金の交付を受けようとするときは、沖縄赤瓦使用奨励金交付請求書(様式第6号)により町長に請求しなければならない。

2 町長は、前項の規定により請求があったときは、速やかに奨励金を交付するものとする。

(交付決定の取消し等)

第8条 町長は、補助事業者がこの要綱の規定又は交付条件に違反したときは、奨励金の交付決定を取り消し、又は既に交付した奨励金の全部若しくは一部を返還させることができる。

(現地調査)

第9条 町長は、奨励金の交付に関し必要があると認めるときは、現地調査を行うことができる。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、町長が別に定めるものとする。

附 則

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

